

平成 2 2 年度

# 定期監査結果報告書

甲州市監査委員

甲 州 監 第 2 1 号

平成22年12月20日

甲 州 市 長 様

甲州市監査委員 平 山 尋 文

甲州市監査委員 田 邊 民 男

平成22年度定期監査及び財政援助団体等に関する監査の結果  
について（報告）

地方自治法第199条第4項並びに7項の規定に基づき、平成22年度  
定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとお  
り報告する。

甲 州 監 第 2 1 号

平成22年12月20日

甲州市議会議長 様

甲州市監査委員 平 山 尋 文

甲州市監査委員 田 邊 民 男

平成22年度定期監査及び財政援助団体等に関する監査の結果  
について（報告）

地方自治法第199条第4項並びに7項の規定に基づき、平成22年度定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告する。

甲 州 監 第 2 1 号

平成22年12月20日

甲州市議会議員 各位

甲州市監査委員 平 山 尋 文

甲州市監査委員 田 邊 民 男

平成22年度定期監査及び財政援助団体等に関する監査の結果  
について（報告）

地方自治法第199条第4項並びに7項の規定に基づき、平成22年度定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告する。

甲 州 監 第 2 1 号

平成22年12月20日

甲州市教育委員会委員長 様

甲州市監査委員 平 山 尋 文

甲州市監査委員 田 邊 民 男

平成22年度定期監査及び財政援助団体等に関する監査の結果  
について（報告）

地方自治法第199条第4項並びに7項の規定に基づき、平成22年度定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告する。

甲 州 監 第 2 1 号

平成22年12月20日

甲州市選挙管理委員会委員長 様

甲州市監査委員 平 山 尋 文

甲州市監査委員 田 邊 民 男

平成22年度定期監査及び財政援助団体等に関する監査の結果  
について（報告）

地方自治法第199条第4項並びに7項の規定に基づき、平成22年度  
定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとお  
り報告する。

甲 州 監 第 2 1 号

平成22年12月20日

甲州市公平委員会委員長 様

甲州市監査委員 平 山 尋 文

甲州市監査委員 田 邊 民 男

平成22年度定期監査及び財政援助団体等に関する監査の結果  
について（報告）

地方自治法第199条第4項並びに7項の規定に基づき、平成22年度  
定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとお  
り報告する。

甲 州 監 第 2 1 号

平成22年12月20日

甲州市農業委員会委員長 様

甲州市監査委員 平 山 尋 文

甲州市監査委員 田 邊 民 男

平成22年度定期監査及び財政援助団体等に関する監査の結果  
について（報告）

地方自治法第199条第4項並びに7項の規定に基づき、平成22年度  
定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとお  
り報告する。

# 目 次

## 【定期監査】

|   |                |    |
|---|----------------|----|
| 1 | 監 査 の 範 囲      | 1  |
| 2 | 監 査 の 対 象      | 1  |
| 3 | 監 査 の 期 間      | 1  |
| 4 | 監 査 の 方 法      | 1  |
| 5 | 監 査 の 結 果      | 1  |
| ① | 一般会計           | 2  |
| ② | 国民健康保険事業特別会計   | 4  |
| ③ | 診療所事業特別会計      | 6  |
| ④ | 老人保健特別会計       | 7  |
| ⑤ | 後期高齢者医療特別会計    | 8  |
| ⑥ | 介護保険事業特別会計     | 9  |
| ⑦ | 居宅介護予防支援事業特別会計 | 10 |
| ⑧ | 訪問看護事業特別会計     | 11 |
| ⑨ | 下水道事業特別会計      | 12 |
| ⑩ | 簡易水道事業特別会計     | 13 |
| ⑪ | 財産区特別会計        | 14 |
| ⑫ | 水道事業会計         | 15 |
| ⑬ | 勝沼ぶどうの丘事業会計    | 17 |
| ⑭ | 勝沼病院事業会計       | 19 |
| 基 | 金              | 21 |

## 【財政援助団体等に関する監査】

|   |           |    |
|---|-----------|----|
| 1 | 監 査 の 範 囲 | 22 |
| 2 | 監 査 の 対 象 | 22 |
| 3 | 監 査 の 期 間 | 22 |
| 4 | 監 査 の 方 法 | 22 |
| 5 | 監 査 の 結 果 | 22 |

# 平成 22 年度 定期監査報告

## 1 監査の範囲

平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日までに執行された財務事務及び事務事業に関する事項

## 2 監査の対象

市長部局、会計課、議会事務局、教育委員会及び公営企業（水道、勝沼ぶどうの丘、勝沼病院）における一般会計、各特別会計及び公営企業会計の予算執行状況、並びに財政援助団体として

## 3 監査の期間

平成 22 年 10 月 5 日から平成 22 年 12 月 10 日まで

## 4 監査の方法

監査の執行に当たっては、あらかじめ各課から提出された資料に基づいて財務関係諸帳簿の審査を行うとともに、事務事業の執行状況及び予算執行に対する方策等について、各課長及び関係職員から説明を聴取し、さらに質問を加え監査を実施した。

また、教育委員会教育総務課については、繰越工事に伴う現場検査をあわせて実施した。

## 5 監査の結果

予算の執行状況は、昨年同期と比較して、一般会計・特別会計とも、ほぼ同じような状況で推移をしており、おおむね順調であると思われる。

監査の結果は次に述べるとおりであるが、監査時において気づいた簡易な事項については、その都度口頭で指摘し、改善を必要とする項目について指示を行った。

財政全体では、平成21年度決算の財政健全化判断比率のうち、実質公債費比率は16.8パーセントと、昨年度17.8パーセントと比較して更に大きな前進を見せ、将来負担率も、前年度決算より22.5ポイント下回ったことは、数値的には評価できる結果となったが、県内の平均に比較すると両比率とも依然として上回っており、これまでと同様、更なる財政の健全化に取り組んでいく必要がある。

また企業会計については、「連結実質赤字比率」が対象となるため、経理及び経営については、そのことを常に念頭に置き、今後も更なる健全経営に向けて努力を行うことが必要である。

今年度も臨時経済対策による交付金等があるが、国政の動向等をより注意深く見極めて、有効な活用が行えるよう、また、今後も経費の節減と創意工夫による予算執行で、健全財政を維持し、市民ニーズと福祉の向上に努力されることを期待するものである。

（注）本書において、文中及び表中に表示する比率（％）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入とした。

# ① 一般会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

## 歳入状況

(単位：円・%)

| 科 目               | 予算現額(A)        | 調定額(B)         | 収入済額(C)       | 収入率<br>(C/A) |
|-------------------|----------------|----------------|---------------|--------------|
| 1 市 税             | 4,518,195,000  | 4,639,640,333  | 2,826,840,901 | 62.6         |
| 2 地 方 譲 与 税       | 143,001,000    | 45,695,052     | 45,695,052    | 32.0         |
| 3 利 子 割 交 付 金     | 19,000,000     | 5,496,000      | 5,496,000     | 28.9         |
| 4 配 当 割 交 付 金     | 1,600,000      | 2,354,000      | 2,354,000     | 147.1        |
| 5 株式等譲渡所得割交付金     | 1,000,000      | 0              | 0             | 0.0          |
| 6 地 方 消 費 税 交 付 金 | 275,000,000    | 170,985,000    | 170,985,000   | 62.2         |
| 7 ゴルフ場利用税交付金      | 22,000,000     | 7,064,820      | 7,064,820     | 32.1         |
| 8 自動車取得税交付金       | 42,001,000     | 13,061,000     | 13,061,000    | 31.1         |
| 9 地 方 特 例 交 付 金   | 52,500,000     | 54,650,000     | 54,650,000    | 104.1        |
| 10 地 方 交 付 税      | 4,837,124,000  | 3,449,045,000  | 3,449,045,000 | 71.3         |
| 11 交通安全対策特別交付金    | 5,000,000      | 2,688,000      | 2,688,000     | 53.8         |
| 12 分担金及び負担金       | 446,836,000    | 204,394,359    | 199,330,873   | 44.6         |
| 13 使用料及び手数料       | 270,559,000    | 209,252,327    | 110,931,973   | 41.0         |
| 14 国 庫 支 出 金      | 1,869,617,000  | 964,081,545    | 868,979,736   | 46.5         |
| 15 県 支 出 金        | 971,409,000    | 164,364,368    | 114,230,403   | 11.8         |
| 16 財 産 収 入        | 19,653,000     | 6,207,971      | 5,798,939     | 29.5         |
| 17 寄 附 金          | 82,250,000     | 54,056,600     | 54,056,600    | 65.7         |
| 18 繰 入 金          | 191,698,000    | 1,874,501      | 1,874,501     | 1.0          |
| 19 繰 越 金          | 305,409,895    | 520,433,244    | 520,433,244   | 170.4        |
| 20 諸 収 入          | 221,934,000    | 29,940,468     | 29,083,511    | 13.1         |
| 21 市 債            | 2,344,700,000  | 13,900,000     | 13,900,000    | 0.6          |
| 歳 入 合 計           | 16,640,486,895 | 10,559,184,588 | 8,496,499,553 | 51.1         |

繰越額を含む予算現額 16,640,486,895 円に対し、収入済額は 8,496,499,553 円で、収入率は 51.1%であった。

主な歳入のうち、自主財源である市税の収納状況は、調定額に対する収納率が 60.9%と、昨年同時期より 3.7%上がっており、今年度から新設された収納課の積極的な取り組みがうかがわれる。

市税の内訳では、市民税が 827,761,009 円、固定資産税が 1,670,086,897 円、都市計画税が 103,828,488 円、軽自動車税が 89,115,889 円、市たばこ税が 91,867,537 円、入湯税 10,591,800 円等となっている。

その他の歳入では、科目により収入時期が年度末となるものもあるため、一部収入率が低い科目もみられるが、おおむね順調な収入状況である。

## 指摘事項

特になし

## 検討・要望事項

景気の冷え込みにより、地方交付税や交付金の減少など、昨今の厳しい財政状況の中では、一段と自主財源の確保が重要となっており、その中でも市税や使用料等の多額な滞納未収金の整理が急務であるが、今年度から新たに設置された収納課は、税主体の収納事務であり、継続されている甲州市収納対策連絡会議については、目立った成果を確認することができないため、税以外の使用料等の収納活動の今後に期待をして、厳しい財政状況の中ではあるが、中長期的な計画により健全な財政運営に向けて引き続き積極的な対応を願うものである。

## 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目           | 予算現額(A)        | 支出額(B)        | 予算残額(A-B)      | 執行率<br>(B/A) |
|---------------|----------------|---------------|----------------|--------------|
| 1 議 会 費       | 164,156,000    | 77,678,594    | 86,477,406     | 47.3         |
| 2 総 務 費       | 3,030,224,000  | 1,401,103,126 | 1,629,120,874  | 46.2         |
| 3 民 生 費       | 4,290,882,000  | 1,611,567,730 | 2,679,314,270  | 37.6         |
| 4 衛 生 費       | 1,430,217,000  | 491,681,782   | 938,535,218    | 34.4         |
| 5 労 働 費       | 26,559,000     | 20,498,660    | 6,060,340      | 77.2         |
| 6 農 林 水 産 業 費 | 840,975,000    | 194,939,343   | 646,035,657    | 23.2         |
| 7 商 工 費       | 534,800,300    | 266,432,275   | 268,368,025    | 49.8         |
| 8 土 木 費       | 1,855,559,595  | 195,714,498   | 1,659,845,097  | 10.5         |
| 9 消 防 費       | 674,331,000    | 419,154,503   | 255,176,497    | 62.2         |
| 10 教 育 費      | 1,604,178,000  | 615,372,253   | 988,805,747    | 38.4         |
| 11 公 債 費      | 2,156,784,000  | 1,119,989,157 | 1,036,794,843  | 51.9         |
| 12 予 備 費      | 31,821,000     | 0             | 31,821,000     | 0.0          |
| 歳 出 合 計       | 16,640,486,895 | 6,414,131,921 | 10,226,354,974 | 38.5         |

繰越額を含む予算現額 16,640,486,895 円のうち、支出額は 6,414,131,921 円で予算に対する執行率は 38.5%となっており、昨年同時期の 39.0%と比較して執行率が若干下がっている。

毎年 8 款土木費は、他の科目と比較して執行率が低いですが、測量設計、農繁期等が上半期となる関係で、工事執行が下半期に集中するためである。

## 指摘事項

特になし

## 検討・要望事項

各課においては全体的な予算状況を見極めながら、早期執行に心がけるとともに、引き続き経費節減に取り組み、市全体の歳出の予算執行が効率的かつ効果的に行えるよう努力されたい。

## ② 国民健康保険事業特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

### 歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目        | 予算現額(A)       | 調定額(B)        | 収入済額(C)       | 収入率<br>(C/A) |
|------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1 国民健康保険税  | 1,174,238,000 | 1,537,432,842 | 494,042,624   | 42.1         |
| 2 分担金及び負担金 | 85,000        | 47,300        | 47,300        | 55.6         |
| 3 使用料及び手数料 | 800,000       | 248,000       | 248,000       | 31.0         |
| 4 国庫支出金    | 1,040,600,000 | 681,156,000   | 341,366,000   | 32.8         |
| 5 療養給付費交付金 | 62,744,000    | 31,571,000    | 31,571,000    | 50.3         |
| 6 前期高齢者交付金 | 724,166,000   | 351,460,948   | 351,460,948   | 48.5         |
| 7 県支出金     | 217,468,000   | 8,015,000     | 8,015,000     | 3.7          |
| 8 共同事業交付金  | 467,861,000   | 160,751,415   | 160,751,415   | 34.4         |
| 9 財産収入     | 150,000       | 275,462       | 275,462       | 183.6        |
| 10 繰入金     | 275,683,000   | 0             | 0             | 0.0          |
| 11 繰越金     | 8,701,000     | 107,511,667   | 107,511,667   | 著大           |
| 12 諸収入     | 7,563,000     | 5,453,464     | 5,401,996     | 71.4         |
| 歳入合計       | 3,980,059,000 | 2,883,923,098 | 1,500,691,412 | 37.7         |

予算現額 3,980,059,000 円に対し、収入済額は 1,500,691,412 円で、収入率は 37.7%であった。

歳入の主なものは、国民健康保険税、国庫支出金及び前期高齢者交付金である。

### 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目         | 予算現額(A)       | 支出額(B)        | 予算残額(C)       | 執行率<br>(B/A) |
|-------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1 総務費       | 74,128,000    | 21,427,856    | 52,700,144    | 28.9         |
| 2 保険給付費     | 2,526,450,000 | 1,086,144,124 | 1,440,305,876 | 43.0         |
| 3 後期高齢者支援金等 | 534,241,000   | 202,213,201   | 332,027,799   | 37.9         |
| 4 前期高齢者納付金等 | 1,520,000     | 345,697       | 1,174,303     | 22.7         |
| 5 老人保健拠出金   | 25,453,000    | 3,577,028     | 21,875,972    | 14.1         |
| 6 介護納付金     | 239,400,000   | 95,340,798    | 144,059,202   | 39.8         |
| 7 共同事業拠出金   | 472,033,000   | 201,572,100   | 270,460,900   | 42.7         |
| 8 保健事業費     | 49,459,000    | 7,369,808     | 42,089,192    | 14.9         |
| 9 諸支出金      | 4,573,000     | 2,012,900     | 2,560,100     | 44.0         |
| 10 公債費      | 15,802,000    | 0             | 15,802,000    | 0.0          |
| 11 予備費      | 37,000,000    | 0             | 37,000,000    | 0.0          |
| 歳出合計        | 3,980,059,000 | 1,620,003,512 | 2,360,055,488 | 40.7         |

予算現額 3,980,059,000 円に対し、支出額は 1,620,003,512 円で、執行率は 40.7%であった。

歳出の主なものは、保険給付費、後期高齢者支援金及び共同事業拠出金である。

#### 指摘事項

特になし

#### 検討・要望事項

国民健康保険税収入については、事業の主な財源であるが、昨年同期より収納率は若干下がっており、依然として滞納繰越額の未納が膨大であり、国保会計を圧迫する要因の 1 つとなっている。

資格証及び短期被保険者証の発行、納税相談や納付指導の実施など、担当職員の努力もあるが、関係課とのより一層の連携や協力を図り、更なる収納率向上の努力をされたい。

また、健康づくりに対する啓発や健康診断の受診率向上など、予防事業の充実を図り、今後も一層の医療費抑制への取り組みに努力されたい。

### ③ 診療所事業特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

#### 歳入状況

(単位:円・%)

| 科 目        | 予算現額(A)    | 調定額(B)     | 収入済額(C)    | 収入率<br>(C/A) |
|------------|------------|------------|------------|--------------|
| 1 診療収入     | 76,670,000 | 21,541,917 | 21,541,917 | 28.1         |
| 2 使用料及び手数料 | 350,000    | 169,830    | 169,830    | 48.5         |
| 3 繰越金      | 11,000,000 | 5,620,985  | 5,620,985  | 51.1         |
| 4 諸収入      | 600,000    | 160,000    | 160,000    | 26.7         |
| 歳入合計       | 88,620,000 | 27,492,732 | 27,492,732 | 31.0         |

予算現額 88,620,000 円に対し、収入済額は 27,492,732 円で、収入率は 31.0%であった。  
歳入の主なものは、診療収入及び繰越金である。

#### 歳出状況

(単位:円・%)

| 科 目     | 予算現額(A)    | 支出額(B)     | 予算残額(C)    | 執行率<br>(B/A) |
|---------|------------|------------|------------|--------------|
| 1 総務費   | 47,099,000 | 22,939,816 | 24,159,184 | 48.7         |
| 2 医業費   | 35,648,000 | 13,125,890 | 22,522,110 | 36.8         |
| 3 施設管理費 | 957,000    | 219,363    | 737,637    | 22.9         |
| 4 公債費   | 2,916,000  | 1,406,112  | 1,509,888  | 48.2         |
| 5 予備費   | 2,000,000  | 0          | 2,000,000  | 0.0          |
| 歳出合計    | 88,620,000 | 37,691,181 | 50,928,819 | 42.5         |

予算現額 88,620,000 円に対し、支出額は 37,691,181 円で、執行率は 42.5%であった。  
歳出の主なものは、総務費及び医業費である。

#### 指摘事項

特になし

#### 検討・要望事項

昨年度に流行した新型や季節性のインフルエンザなどに対して、万全な体制を整えていただき、甲州市の過疎地域医療の主力として、継続して在宅診療などへの取り組みを図られたい。

#### ④ 老人保健特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

##### 歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目       | 予算現額(A)   | 調定額(B)     | 収入済額(C)    | 収入率<br>(C/A) |
|-----------|-----------|------------|------------|--------------|
| 1 支払基金交付金 | 3,047,000 | 426,964    | 426,964    | 14.0         |
| 2 国庫支出金   | 2,001,000 | 0          | 0          | 0.0          |
| 3 県支出金    | 501,000   | 0          | 0          | 0.0          |
| 4 繰入金     | 500,000   | 0          | 0          | 0.0          |
| 5 繰越金     | 1,000     | 16,369,521 | 16,369,521 | 著大           |
| 6 諸収入     | 304,000   | 16,362     | 16,362     | 5.4          |
| 歳入合計      | 6,354,000 | 16,812,847 | 16,812,847 | 264.6        |

予算現額 6,354,000 円に対し、収入済額は 16,812,847 円で、収入率は 264.6％であった。  
歳入の主なものは、繰越金である。

##### 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目    | 予算現額(A)   | 支出額(B) | 予算残額(C)   | 執行率<br>(B/A) |
|--------|-----------|--------|-----------|--------------|
| 1 総務費  | 207,000   | 16,053 | 190,947   | 7.8          |
| 2 医療諸費 | 6,046,000 | 4,521  | 6,041,479 | 0.1          |
| 3 諸支出金 | 1,000     | 0      | 1,000     | 0.0          |
| 4 予備費  | 100,000   | 0      | 100,000   | 0.0          |
| 歳出合計   | 6,354,000 | 20,574 | 6,333,426 | 0.3          |

予算現額 6,354,000 円に対し、支出額は 20,574 円で、執行率は 0.3％であった。  
歳出の主なものは、医療諸費である。

##### 指摘事項

特になし

##### 検討・要望事項

特になし

# ⑤ 後期高齢者医療特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

## 歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目          | 予算現額(A)     | 調定額(B)      | 収入済額(C)     | 収入率<br>(C/A) |
|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 後期高齢者医療保険料 | 243,039,000 | 244,396,340 | 114,434,230 | 47.1         |
| 2 使用料及び手数料   | 2,000       | 40,860      | 40,860      | 著大           |
| 3 繰入金        | 86,074,000  | 0           | 0           | 0.0          |
| 4 繰越金        | 1,000       | 165,320     | 165,320     | 著大           |
| 5 諸収入        | 2,004,000   | 731,100     | 731,100     | 36.5         |
| 歳入合計         | 331,120,000 | 245,333,620 | 115,371,510 | 34.8         |

予算現額 331,120,000 円に対し、収入済額は 115,371,510 円で、収入率は 34.8%であった。  
歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料である。

## 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目              | 予算現額(A)     | 支出額(B)      | 予算残額(C)     | 執行率<br>(B/A) |
|------------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 総務費            | 9,982,000   | 1,371,723   | 8,610,277   | 13.7         |
| 2 後期高齢者医療広域連合納付金 | 318,637,000 | 136,074,000 | 182,563,000 | 42.7         |
| 3 諸支出金           | 2,001,000   | 843,770     | 1,157,230   | 42.2         |
| 4 予備費            | 500,000     | 0           | 500,000     | 0.0          |
| 歳出合計             | 331,120,000 | 138,289,493 | 192,830,507 | 41.8         |

予算現額 331,120,000 円に対し、支出額は 138,289,493 円で、執行率は 41.8%であった。  
歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金である。

## 指摘事項

特になし

## 検討・要望事項

特になし

## ⑥ 介護保険事業特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

### 歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目             | 予算現額(A)       | 調定額(B)        | 収入済額(C)       | 収入率<br>(C/A) |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1 保 険 料         | 476,726,000   | 197,586,900   | 197,312,200   | 41.4         |
| 2 使用料及び手数料      | 36,000        | 14,800        | 14,800        | 41.1         |
| 3 国 庫 支 出 金     | 572,447,000   | 295,373,000   | 295,373,000   | 51.6         |
| 4 支 払 基 金 交 付 金 | 728,174,000   | 321,519,000   | 321,519,000   | 44.2         |
| 5 県 支 出 金       | 355,331,000   | 175,276,000   | 175,276,000   | 49.3         |
| 6 財 産 収 入       | 282,000       | 133,533       | 133,533       | 47.4         |
| 7 繰 入 金         | 381,708,000   | 7,666,589     | 7,666,589     | 2.0          |
| 8 繰 越 金         | 44,148,000    | 44,148,890    | 44,148,890    | 100.0        |
| 9 諸 収 入         | 6,000         | 192,411       | 192,411       | 著大           |
| 歳 入 合 計         | 2,558,858,000 | 1,041,911,123 | 1,041,636,423 | 40.7         |

予算現額 2,558,858,000 円に対し、収入済額は 1,041,636,423 円で、収入率は 40.7%であった。

歳入の主なものは、保険料、国庫支出金、支払基金交付金及び県支出金である。

### 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目             | 予算現額(A)       | 支出額(B)        | 予算残額(C)       | 執行率<br>(B/A) |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1 総 務 費         | 74,212,000    | 40,872,496    | 33,339,504    | 55.1         |
| 2 保 険 給 付 費     | 2,399,563,000 | 1,045,963,077 | 1,353,599,923 | 43.6         |
| 3 財政安定化基金拠出金    | 1,000         | 0             | 1,000         | 0.0          |
| 4 地 域 支 援 事 業 費 | 36,379,000    | 7,111,479     | 29,267,521    | 19.5         |
| 5 諸 支 出 金       | 44,823,000    | 316,533       | 44,506,467    | 0.7          |
| 6 予 備 費         | 3,880,000     | 0             | 3,880,000     | 0.0          |
| 歳 出 合 計         | 2,558,858,000 | 1,094,263,585 | 1,464,594,415 | 42.8         |

予算現額 2,558,858,000 円に対し、支出額は 1,094,263,585 円で、執行率は 42.8%であった。

歳出の主なものは、総務費及び保険給付費である。

### 指摘事項

特になし

### 検討・要望事項

特になし

⑦ 居宅介護予防支援事業特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目        | 予算現額(A)    | 調定額(B)    | 収入済額(C)   | 収入率<br>(C/A) |
|------------|------------|-----------|-----------|--------------|
| 1 サービス事業収入 | 10,007,000 | 3,539,640 | 3,539,640 | 35.4         |
| 2 繰越金      | 1,000      | 1,167,525 | 1,167,525 | 著大           |
| 3 諸収入      | 1,000      | 0         | 0         | 0.0          |
| 歳入合計       | 10,009,000 | 4,707,165 | 4,707,165 | 47.0         |

予算現額 10,009,000 円に対し、収入済額は 4,707,165 円で、収入率は 47.0%であった。  
歳入については、サービス事業収入及び繰越金である。

歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目       | 予算現額(A)    | 支出額(B)    | 予算残額(C)   | 執行率<br>(B/A) |
|-----------|------------|-----------|-----------|--------------|
| 1 サービス事業費 | 9,909,000  | 2,457,603 | 7,451,397 | 24.8         |
| 2 予備費     | 100,000    | 0         | 100,000   | 0.0          |
| 歳出合計      | 10,009,000 | 2,457,603 | 7,551,397 | 24.6         |

予算現額 10,009,000 円に対し、支出額は 2,457,603 円で、執行率は 24.6%であった。  
歳出については、サービス事業費である。

指摘事項

特になし

検討・要望事項

特になし

# ⑧ 訪問看護事業特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

## 歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目        | 予算現額(A)    | 調定額(B)     | 収入済額(C)    | 収入率<br>(C/A) |
|------------|------------|------------|------------|--------------|
| 1 サービス事業収入 | 57,516,000 | 20,432,985 | 20,159,986 | 35.1         |
| 2 財 産 収 入  | 164,000    | 105,911    | 105,911    | 64.6         |
| 3 繰 越 金    | 2,000,000  | 7,464,532  | 7,464,532  | 373.2        |
| 4 諸 収 入    | 100,000    | 18,000     | 18,000     | 18.0         |
| 歳 入 合 計    | 59,780,000 | 28,021,428 | 27,748,429 | 46.4         |

予算現額 59,780,000 円に対し、収入済額は 27,748,429 円で、収入率は 46.4％であった。  
歳入の主なものは、サービス事業収入及び繰越金である。

## 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目       | 予算現額(A)    | 支出額(B)     | 予算残額(C)    | 執行率<br>(B/A) |
|-----------|------------|------------|------------|--------------|
| 1 サービス事業費 | 57,616,000 | 23,104,818 | 34,511,182 | 40.1         |
| 2 諸 支 出 金 | 164,000    | 105,911    | 58,089     | 64.6         |
| 3 予 備 費   | 2,000,000  | 0          | 2,000,000  | 0.0          |
| 歳 出 合 計   | 59,780,000 | 23,210,729 | 36,569,271 | 38.8         |

予算現額 59,780,000 円に対し、支出額は 23,210,729 円で、執行率は 38.8％であった。  
歳出の主なものは、サービス事業費である。

## 指摘事項

特になし

## 検討・要望事項

特になし

## ⑨ 下水道事業特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

### 歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目        | 予算現額(A)       | 調定額(B)     | 収入済額(C)    | 収入率<br>(C/A) |
|------------|---------------|------------|------------|--------------|
| 1 分担金及び負担金 | 16,515,000    | 30,565,500 | 19,614,800 | 118.8        |
| 2 使用料及び手数料 | 144,414,000   | 54,011,196 | 32,636,031 | 22.6         |
| 3 国庫支出金    | 41,240,000    | 0          | 0          | 0.0          |
| 4 繰入金      | 734,284,000   | 0          | 0          | 0.0          |
| 5 繰越金      | 5,000,000     | 13,870,398 | 13,870,398 | 277.4        |
| 6 諸収入      | 34,138,000    | 14,700     | 14,700     | 0.0          |
| 7 市債       | 387,700,000   | 0          | 0          | 0.0          |
| 歳入合計       | 1,363,291,000 | 98,461,794 | 66,135,929 | 4.9          |

繰越額を含む予算現額 1,363,291,000 円に対し、収入済額は 66,135,929 円で、収入率は 4.9％であった。

歳入の主なものは、使用料及び手数料である。

### 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目    | 予算現額(A)       | 支出額(B)      | 予算残額(C)     | 執行率<br>(B/A) |
|--------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 下水道費 | 401,131,000   | 116,285,497 | 284,845,503 | 29.0         |
| 2 浄化槽費 | 31,292,000    | 8,980,023   | 22,311,977  | 28.7         |
| 3 公債費  | 930,868,000   | 460,876,035 | 469,991,965 | 49.5         |
| 4 予備費  | 0             | 0           | 0           | 0.0          |
| 歳出合計   | 1,363,291,000 | 586,141,555 | 777,149,445 | 43.0         |

繰越額を含む予算現額 1,363,291,000 円に対し、支出額は 586,141,555 円で、執行率は 43.0％であった。

歳出の主なものは、下水道費及び公債費である。

### 指摘事項

特になし

### 検討・要望事項

歳入では、事業全体の収入率が 4.9％と低く、その内容も、主な財源である繰入金や市債の依存度が高いので、綿密な計画のもと事業の効率化を図り、また供用開始区域内の接続率の向上などに努力されたい。

また、状況により工事執行時期が年度後半に集中することが多いので、年度繰越しが発生しないよう、計画的な整備促進と維持管理に努められたい。

なお、合併処理浄化槽の設置補助については、今後も積極的にPRに努めるなどして継続拡大を望むものである。

## ⑩ 簡易水道事業特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

### 歳入状況

(単位：円・％)

| 科 目        | 予算現額(A)     | 調定額(B)      | 収入済額(C)     | 収入率<br>(C/A) |
|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 分担金及び負担金 | 3,612,000   | 1,365,000   | 1,365,000   | 37.8         |
| 2 使用料及び手数料 | 249,510,000 | 85,286,918  | 92,660,769  | 37.1         |
| 3 国庫支出金    | 30,140,000  | 0           | 0           | 0.0          |
| 4 財産収入     | 1,000       | 0           | 0           | 0.0          |
| 5 繰入金      | 132,172,000 | 30,000,000  | 30,000,000  | 22.7         |
| 6 繰越金      | 5,000,000   | 16,092,979  | 16,092,979  | 321.9        |
| 7 諸収入      | 5,008,000   | 18,930      | 18,930      | 0.4          |
| 8 市債       | 94,300,000  | 0           | 0           | 0.0          |
| 歳入合計       | 519,743,000 | 132,763,827 | 140,137,678 | 27.0         |

繰越額を含む予算現額 519,743,000 円に対し、収入済額は 140,137,678 円で、収入率は 27.0%であった。

歳入の主なものは、使用料及び手数料並びに繰入金である。

### 歳出状況

(単位：円・％)

| 科 目         | 予算現額(A)     | 支出額(B)      | 予算残額(C)     | 執行率<br>(B/A) |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 簡易水道事業費   | 229,737,000 | 89,164,950  | 140,572,050 | 38.8         |
| 2 環境衛生施設整備費 | 149,497,000 | 5,700,000   | 143,797,000 | 3.8          |
| 3 公債費       | 139,736,000 | 69,421,572  | 70,314,428  | 49.7         |
| 4 予備費       | 773,000     | 0           | 773,000     | 0.0          |
| 歳出合計        | 519,743,000 | 164,286,522 | 355,456,478 | 31.6         |

繰越額を含む予算現額 519,743,000 円に対し、支出額は 164,286,522 円で、執行率は 31.6%であった。

歳出の主なものは、簡易水道事業費及び公債費である。

### 指摘事項

特になし

### 検討・要望事項

平成 22 年 8 月から、合併後 2 度目の水道料金改定が行われ、住民の負担が増す結果となったので、更なる計画的な事業設計により効率化と経費節減に努力されたい。

# ⑪ 財産区特別会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の各財産区の予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

## 歳入・歳出状況

(単位：円)

| 会 計 名       | 予算現額(A)    | 収入済額(B)   | 支出額(C)    | 収支差引残高<br>(B-C) |
|-------------|------------|-----------|-----------|-----------------|
| 大 藤 財 産 区   | 4,125,000  | 2,777,200 | 2,305,564 | 471,636         |
| 神 金 財 産 区   | 5,795,000  | 1,076,717 | 12,234    | 1,064,483       |
| 萩 原 山 財 産 区 | 18,100,000 | 5,239,000 | 4,933,672 | 305,328         |
| 竹 森 入 財 産 区 | 1,324,000  | 956,798   | 92,748    | 864,050         |
| 岩崎山保護財産区管理会 | 615,000    | 313,558   | 42,013    | 271,545         |

各財産区とも、順調な予算執行を行っている。

## 指摘事項

特になし

## 検討・要望事項

特になし

## ⑫ 水道事業会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

### 収益的収入

(単位：円・％)

| 区 分         | 予算現額(A)     | 調定済額(B)     | 内消費税額     | 収入率<br>(B/A) |
|-------------|-------------|-------------|-----------|--------------|
| 水 道 事 業 収 益 | 441,170,000 | 152,925,056 | 7,141,809 | 34.7         |
| 1 営 業 収 益   | 426,400,000 | 151,666,631 | 7,137,028 | 35.6         |
| 2 営 業 外 収 益 | 14,750,000  | 1,258,425   | 4,781     | 8.5          |
| 3 特 別 利 益   | 20,000      | 0           | 0         | 0.0          |

予算現額 441,170,000 円に対し、調定済額は 152,925,056 円で、予定収入率は 34.7%である。

水道事業収益のうち主なものは、営業収益の給水収益であり、営業外収益では受取利息及び配当金並びに雑収入である。

### 収益的支出

(単位：円・％)

| 区 分         | 予算現額(A)     | 支出済額(B)     | 内消費税額     | 執行率<br>(B/A) |
|-------------|-------------|-------------|-----------|--------------|
| 水 道 事 業 費 用 | 430,248,000 | 123,047,459 | 3,260,531 | 28.6         |
| 1 営 業 費 用   | 391,370,000 | 108,152,948 | 3,259,479 | 27.6         |
| 2 営 業 外 費 用 | 37,578,000  | 14,873,822  | 0         | 39.6         |
| 3 特 別 損 失   | 300,000     | 22,075      | 1,052     | 6.9          |
| 4 予 備 費     | 1,000,000   | 0           | 0         | 0.0          |

予算現額 430,248,000 円に対し、支出済額は 123,047,459 円で、執行率は 28.6%であった。

水道事業費用のうち主なものは、営業費用の浄水及び配水費、原水及び浄水費並びに総係費である。

資本的収入

(単位：円・％)

| 区 分         | 予算現額(A)    | 調定済額(B)   | 内消費税額   | 収入率<br>(B/A) |
|-------------|------------|-----------|---------|--------------|
| 資 本 的 収 入   | 43,731,000 | 3,234,000 | 154,000 | 7.4          |
| 1 企 業 債     | 30,000,000 | 0         | 0       | 0.0          |
| 2 負 担 金     | 4,998,000  | 3,234,000 | 154,000 | 64.7         |
| 3 移 設 補 償 金 | 8,733,000  | 0         | 0       | 0.0          |

予算現額 43,731,000 円に対し、調定済額は 3,234,000 円で、予定収入率は 7.4%であった。  
資本的収入は、負担金のみである。

資本的支出

(単位：円・％)

| 区 分           | 予算現額(A)     | 支出済額(B)    | 内消費税額   | 執行率<br>(B/A) |
|---------------|-------------|------------|---------|--------------|
| 資 本 的 支 出     | 121,581,850 | 35,549,259 | 480,100 | 29.2         |
| 1 建 設 改 良 費   | 70,342,850  | 10,082,100 | 480,100 | 14.3         |
| 2 企 業 債 償 還 金 | 51,239,000  | 25,467,159 | 0       | 49.7         |

予算現額 121,581,850 円に対し、支出済額は 35,549,259 円で、執行率は 29.2%であった。

指摘事項

特になし

検討・要望事項

平成 21 年度決算では繰越欠損額があり、また今年度上半期でも損失を計上しているので、事業全体での見直しを行い、より一層経営の合理化に努め、一刻も早く健全な経営に戻るため、今後も更なる効率的かつ積極的な事業運営に期待するものである。

### ⑬ 勝沼ぶどうの丘事業会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

#### 収益的収入

(単位：円・％)

| 区 分     | 予算現額(A)       | 調定済額(B)     | 内消費税<br>及び入湯税額 | 収入率<br>(B/A) |
|---------|---------------|-------------|----------------|--------------|
| 事業収益    | 1,008,122,000 | 517,875,305 | 33,284,024     | 51.4         |
| 1 営業収益  | 1,007,722,000 | 517,836,161 | 33,284,024     | 51.4         |
| 2 営業外収益 | 400,000       | 39,144      | 0              | 9.8          |

予算現額 1,008,122,000 円に対し、調定済額は 517,875,305 円で、予定収入率は 51.4%であった。

事業収益のうち主なものは、営業収益の利用収益及び売店収益であり、営業外収益では受取利息及び雑収入であった。

#### 収益的支出

(単位：円・％)

| 区 分     | 予算現額(A)     | 支出済額(B)     | 内消費税<br>及び入湯税額 | 執行率<br>(B/A) |
|---------|-------------|-------------|----------------|--------------|
| 事業費用    | 983,067,000 | 453,266,636 | 33,284,024     | 46.1         |
| 1 営業費用  | 945,967,000 | 434,957,948 | 14,975,336     | 46.0         |
| 2 営業外費用 | 37,000,000  | 18,308,688  | 18,308,688     | 49.5         |
| 3 予備費   | 100,000     | 0           | 0              | 0.0          |

予算現額 983,067,000 円に対して、支出済額は 453,266,636 円で、執行率は 46.1%であった。

事業費用のうち主なものは、営業費用の販売費及び施設経営費である。

資本的収入

(単位：円・％)

| 区 分       | 予算現額(A) | 調定済額(B) | 内消費税額 | 収入率<br>(B/A) |
|-----------|---------|---------|-------|--------------|
| 資 本 的 収 入 | 0       | 0       | 0     | —            |

勝沼ぶどうの丘事業では、特別な事由等がない限り、毎年度に資本的収入は計上されていない。

資本的支出

(単位：円・％)

| 区 分       | 予算現額(A)    | 支出済額(B) | 内消費税額 | 執行率<br>(B/A) |
|-----------|------------|---------|-------|--------------|
| 資 本 的 支 出 | 55,000,000 | 0       | 0     | 0.0          |
| 1 企業債償還金  | 55,000,000 | 0       | 0     | 0.0          |

予算現額 55,000,000 円に対し、9 月末現在未執行である

指摘事項

詳細な財務処理に対し、再三に渡り指摘を繰り返してきたが、若干の進展はあるものの多岐に渡る部分で改善がみられず、依然として独自の方法での会計処理を行っており、市の公営企業会計として足並みを揃える意味で、水道事業との財務処理方法についてのすり合わせを行い、平成 17 年の合併以降に未だ定められていない、地方公営企業法施行規則の第一条に定められる、勝沼ぶどうの丘事業としての会計規定を整備することが急務である。

また上半期の業務の状況を説明する書類と、9 月末の例月出納検査の資料では、数値に不一致がみられるので、原因を究明して早急に事務改善を行う必要がある。

検討・要望事項

平成 22 年度の上半期は、経営面では純利益を得ているが、さきに述べたとおり財務処理方法に多くの疑問が残り、決算審査及び定期監査ヒアリングにおいて事業管理者に対し、再三の指摘・指導を行ったが、公営企業会計の本質に対する認識の相違により、財務処理方法の変更が見られないので、甲州市の監査委員の立場としては、勝沼ぶどうの丘事業の財務処理が適正に行われているとは述べ難い。

観光事業の拠点として集客を業務とする施設ではあるが、公営の企業会計であることを再認識して、監査委員の指摘を真摯に受け止め、地方公営企業法に基づく適切で透明性のある正確かつ計画的な健全な財務処理を行うよう努力されたい。

⑭ 勝沼病院事業会計

平成 22 年 9 月 30 日現在の款別予算歳入歳出状況は、次のとおりである。

収益的収入

(単位：円・％)

| 区 分         | 予算現額(A)    | 調定済額  | 内消費税額 | 収入率<br>(B/A) |
|-------------|------------|-------|-------|--------------|
| 病 院 事 業 収 益 | 19,388,000 | 4,211 | 0     | 0.0          |
| 1 医 業 外 収 益 | 19,388,000 | 4,211 | 0     | 0.0          |

予算現額 19,388,000 円に対し、調定済額は 4,211 円であった。  
医業外収益のうち主なものは、他会計負担金（一般会計）である。

収益的支出

(単位：円・％)

| 区 分         | 予算現額(A)    | 支出済額(B)   | 内消費税額 | 執行率<br>(B/A) |
|-------------|------------|-----------|-------|--------------|
| 病 院 事 業 費 用 | 19,388,000 | 2,125,907 | 6,750 | 11.0         |
| 1 医 業 費 用   | 16,706,000 | 741,750   | 6,750 | 4.4          |
| 2 医 業 外 費 用 | 2,681,000  | 1,384,157 | 0     | 51.6         |
| 3 予 備 費     | 1,000      | 0         | 0     | 0.0          |

予算現額 19,388,000 円に対して、支出済額は 2,125,907 円で、執行率は 11.0%であった。  
病院事業費用は、医業費用及び医業外費用である。

資本的収入

(単位：円・％)

| 区 分       | 予算現額(A)    | 調定済額 | 内消費税額 | 収入率<br>(B/A) |
|-----------|------------|------|-------|--------------|
| 資 本 的 収 入 | 18,139,000 | 0    | 0     | 0.0          |
| 1 一般会計負担金 | 18,139,000 | 0    | 0     | 0.0          |

予算現額 18,139,000 円に対し、調定済額は上半期ではまだ計上されていない。  
資本的収入は、一般会計負担金のみである。

資本的支出

(単位：円・％)

| 区 分       | 予算現額(A)    | 支出済額(B)    | 内消費税額   | 執行率<br>(B/A) |
|-----------|------------|------------|---------|--------------|
| 資 本 的 支 出 | 30,900,000 | 16,784,857 | 203,000 | 54.3         |
| 1 建設改良費   | 5,813,000  | 4,263,000  | 203,000 | 73.3         |
| 2 企業債償還金  | 25,087,000 | 12,521,857 | 0       | 49.9         |

予算現額 30,900,000 円に対し、支出済額は 16,784,857 円で、執行率は 54.3%であった。  
資本的支出は、建設改良費及び企業債償還金である。

指摘事項

特になし

検討・要望事項

今年度より、市の所管課が健康増進課へと移ったが、引き続き厚生会と緊密な連携を取り、健全な経営が行われるよう取り組んでいただきたい。

## 【基金】

平成 22 年 9 月 30 日現在における各基金の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

| 基金名                     | 年度当初額         | 9 月 30 日現在高   | 増 減         |
|-------------------------|---------------|---------------|-------------|
| 財 政 調 整 基 金             | 456,821,448   | 456,843,889   | 22,441      |
| 減 債 基 金                 | 150,387,020   | 150,450,422   | 63,402      |
| 公 共 施 設 整 備 基 金         | 179,217,760   | 179,218,356   | 596         |
| 社 会 福 祉 基 金             | 489,800,789   | 489,800,789   | 0           |
| 家 庭 小 口 資 金 貸 付 基 金     | 12,814,080    | 12,668,080    | △ 146,000   |
| 中 山 間 農 村 地 域 活 性 化 基 金 | 20,767,454    | 20,808,988    | 41,534      |
| 土 地 開 発 基 金             | 276,903,072   | 286,578,892   | 9,675,820   |
| 介護保険給付費支払準備基金           | 58,466,706    | 85,452,606    | 26,985,900  |
| 国民健康保険財政調整基金            | 108,687,022   | 108,687,022   | 0           |
| 訪問看護財政調整基金              | 83,303,836    | 83,409,747    | 105,911     |
| 合 併 振 興 基 金             | 500,000,000   | 500,000,000   | 0           |
| ふ る さ と 支 援 基 金         | 0             | 16,123,548    | 16,123,548  |
| 介護従事者処遇改善臨時特例基金         | 7,668,420     | 5,272         | △ 7,663,148 |
| 合 計                     | 2,344,837,607 | 2,390,047,611 | 45,210,004  |

## 平成 22 年度 財政援助団体等に関する監査報告

### 1 監査の範囲

平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日までに執行された財政援助に係る出納事務及び業務全般

### 2 監査の対象

社会福祉法人 甲州市社会福祉協議会

### 3 監査の期間

平成 22 年 10 月 5 日から平成 22 年 12 月 10 日まで

### 4 監査の方法

監査の執行に当たっては、あらかじめ提出された資料に基づいて財務関係諸帳簿の審査を行い、関係職員から説明を聴取し、さらに質問を加え監査を実施した。

### 005 監査の結果

補助金、受託金に係る事業予算の執行状況は、目的に沿って実施されており出納事務処理も適正であると認められた。

また、指定管理者として施設運営を行っている、甲州市勝沼健康福祉センター、大和福祉センター・大和デイサービスセンターについても適正に運営されているものと認められた。

今後も経費の節減と創意工夫により健全運営を維持して、市民のニーズに応えることができる、地域福祉活動の向上に推進されることを期待するものである。